医療法人る・ぷてぃ・らぱん

柊みみはなのどクリニック

耳鼻咽喉科・歯科・小児科・皮膚科
〒474-0053 愛知県大府市柊山町 3-315
ＴＥＬ：0562-46-3341
http://hiiragi.org

■診療時間

月火水木金	9：00～12：30 14：30～18：30
土	9：00～12：30

■経歴
1993 愛知医科大学卒業
1995 西尾市民病院常勤医
1998 名古屋大学 耳鼻咽喉科医局員
1999 東海市民病院 常勤医
1999 柊みみはなのどクリニック開院

院長 内藤（ないとう） 孝司（こうじ） 氏

使命は「子供たちの未来のために世界で一番ハッピーなクリニックを創る！」こと

宮田　2 つのクリニックと耳鼻咽喉科・歯科に加え、小児科・皮膚科の診療を行われている柊みみはなのどクリニック様ですが、開業当初から経営に力を入れられていましたか。

内藤院長　開業当初は仕事を楽しいとも感じず、今後どうしていけば良いか考え込むこともありました。しかし、このままでは駄目だと思い、経営を一から見直そうと決意しました。

宮田　その頃に影響を受けたものはございますか。

内藤院長　知り合いの社長に勧めて頂いた、ドラッカーの考えです。開業当初、自分には経営者としてのカリスマ性がないため、上手くいかないと思っていましたが、経営にカリスマ性は必要なく「真摯さ」が必要との言葉が支えとなり、その内容にとても感動しました。それまでは、クリニックとしての使命を考えることもなく、生活するために働いている感覚で日々苦痛でしたが、楽しく働きたいという気持ちになりました。

宮田　ギアチェンジをするために、何から始められましたか。

内藤院長　何よりもクリニックの「使命」について深く考えました。スタッフに浸透させるまでには、大変苦労しましたが、やって見せ、させてみての繰り返しで、何度も諦めずに伝え続けるとともに、まず自分自身が実践することを意識しました。また、怒らないことも意識しました。それは、怒っても何の利益にもならないことに気付いたからです。自分の想いを伝えたくて真剣に怒ったとしても、それでは何も伝わりませんし、分かり合うことなくスタッフは辞めていってしまいます。その繰り返しがあり、今ではスタッフ自らがその使命を第一に考え行動してくれますし、後輩に対しても使命の落とし込みを行ってくれています。

宮田　経営者としての想いを伝えるということは難しいですね。

内藤先生　想いが完全に伝わっているか、常に皆が自分と同じ考えになってくれているかというとそうではありません。何度も使命を伝え続けることで、共感できない人は辞めていってしまうこともありますからね。

宮田　そう考えると、人材の採用はとても大切ですね。

内藤院長　「ビジョナリーカンパニー2飛躍の法則」（日経 BP 社発行）では、最初に何をすべきか考えるのではなく、最初にだれを選ぶかが重要だと書かれています。使命に沿った適切な人材を選ぶことにより、厳しく管理する必要はなく、会社の方針が変わってもその環境に適応しやすくなり、舵も切りやすくなります。この考えを採用活動に活かしており、うちでは第一に使命に共感して下さる方を絞って採用しています。安定志向で事業や方針が拡大、変化していくことを嫌がる方も多いですが、うちはどんどん進化していきたいので、変化に対応できる方が良いと思っています。今では、同じ方向を向いてくれる仲間が残ってくれましたが、働くスタッフというのは本当に重要です。

宮田　スタッフ様の定着率はいかがですか。

内藤院長　定着率は良いと思いますが、ある程度は循環したほうが良いと考えますので、こだわっていません。私たちは患者様のために医療活動を行っているのに、スタッフの定着率にこだわりすぎて、福利厚生を強化したり、給与を上げたりするのは、患者様目線ではなくなっているので本末転倒だなと思います。

宮田　こちらではスタッフ様に対して、総選挙や 2 人を 1 組のペアにするバディシステム、リーダーと後輩が 1 対 1 で面談をするワンオンワンミーティングなどたくさんの取り組みをされていますね。

内藤院長　それらは海外の異業種企業から取り入れていますが、そのまま取り入れるだけでは失敗する可能性が高いので、うちにあった方法を模索しながら導入をしています。

宮田　資産についての対策はされていますか。

内藤院長　以前は節税対策の本を読んだりしていましたが、今はあまり興味がないです。それに、最近は節税対策で行っていたものが否認されるというケースも聞くので、慎重にもなっています。

宮田　では、まだ先のことかとは思いますが、引退時期などは決めていらっしゃいますか。

内藤院長　引退は後継者が決めることですので、まだ分かりません。後継者は子どもとは限りませんし、その頃には医者でなくても経営ができるようになっているかもしれないので、経営がしっかりと出来る方に売却するのもありかなと思っています。ですが、クリニックは絶対に残していきたいです。スタッフがいる限り、自分が歳をとったから閉院というわけにはいきません。今の若いスタッフ達が歳をとっても働ける環境は残していきたいです。

宮田　最後に、先生が目指す医院像を教えてください。

内藤院長　地域や社会に貢献できるような医院になることですね。あの医院こそ素晴らしい、モデルとなる医院と言われるようになりたいです。今後、素晴らしい医院になるための目標や、多岐にわたる事業方針を明確に持って、進んでいきたいと思います。

内藤院長のLife Style

Q 趣味はございますか？
A 仕事が趣味というタイプです。他にはエヴァンゲリオンなどのアニメが相当好きです。

Q お休みの日は何をして過ごされていますか？
A 経営のことは常に頭をめぐっていますが、子どもと出かけたりもしています。最近はポケモンGOにハマってます。

Q ベンチマークにされている会社はございますか？
A 他業種ですが、グーグルやフェイスブックですね。たくさん吸収するものがあります。国内企業は個性を活かさないので必然的に海外に目が向いてしまいます。

Q 先生のお勧めをご紹介ください。
A ドラッカー塾です。私もこちらでマネジメントにおける哲学を学び、自分の組織ではどういうリーダーが必要なのかを考えるきっかけになりました。

取材を通して

使命の実現に向けて、一丸となって取り組まれている柊みみはなのどクリニック様は、皆様がこの使命に憧れ、そして誇りを持って働かれていました。それは採用の時点で考え方や価値観に共感してくれる方に絞られていることもありますが、何より院長先生が、何でもまずは自身でやって見せること、そしてスタッフ様の成長をサポートするために考えられた多くの取り組みがあってこそだと思います。取材を通して人材マネジメントの大切さを改めて実感しました。

代表取締役 宮田 弘文

財務のご相談は弊社にお任せください　無料 FP 相談 0120-169-771（平日 9：00 ～ 18：00）